



合唱コンクールに寄せて 六中生のみなさんへ

校長 西尾 晃明

ステージに上がるには勇気がいります。みんなに見られて照れくさい。これは普通です。見られることが好きな人もいますが、これはある意味プロですね。センターを取る話をアイドルグループでよく聞くけれど、合唱では関係ありません。ステージ上はライトが隅々まで当たるようになっています。だからどこに立っても客席からはよく見えます。自信をもって立ってください。

よく見えるということはその人の声が良く通ると言うことです。でもグリーンホールのようなコンサートホールのステージには反響板というものがあります。ステージ上で出した音はステージの中で響くようにできているのです。自分の声が客席に目立って聴こえて恥ずかしいと思っている人はいませんか。ステージ上では一人一人の声が柔らかく響くので心配ありません。怖がらずに声を出してください。

さてオーケストラを思い浮かべてください。楽器はそれぞれ形や大きさ、材質が違うので一目見れば音色がそれぞれ違うだろうと簡単に想像がつかますね。人はどうでしょうか。それぞれ顔が違うように声の音色もみんな違います。しかし外見からはその人がどんな音色の声を持っているのかはわかりません。コントラバスのように深い

響きの声、トライアングルのように透きとおった声、ファゴットのようにまろやかな声など、人によって様々です。まさに今年のスローガン「百歌繚乱」ならぬ「百声繚乱」ですね。

先日ノーベル文学賞を受賞した歌手のボブディランは相当個性的な声で決して美声ではありません。つまり良い声じゃなくても人を感動させることはできるのです。

ベートーヴェンの交響曲第五番ハ短調「運命」に使われる楽器の種類はヴァイオリン、ピオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ピッコロ、オーボエ…など約13種類です。では合唱は何種類でしょうか。3年1組を例にとると、野さん、上さん、田さん…と31人いるのでつまり31種類の音色を持った集団なのです。

ブレンドされた合唱の音色は当然そのクラスだけの特別な宝ものです。どうすれば全員の声ブレンドするのか。ステージに上がる君たち自身の課題です。本番の10月27日まであと10日。みんなで考えて工夫して、何度も何度も練習して宝ものを創りあげてください。

そして、感動から遠ざかっている大人たちを「むむ～」と感動で唸らせてください。

今後の予定

- | | |
|----------------|------------------|
| 10/20 生徒総会 | 10/30・国領わいわいまつり・ |
| 10/21 進路説明会3年 | 11/1 調布市連合音楽会 |
| 10/23・国領児童館祭り・ | 11/2～ 三者面談3年 |
| ・調布地区運動会・ | 11/5 学校公開 |
| 10/27 合唱コンクール | ラグビー講演会 |
| [グリーンホール] | ・地域行事・ |

六中生の心

思いやりの心

やさしい心

感謝の心